

第一礼拝次第

メッセージ: 伊禮信義先生

ライブ配信: 郭永東牧師



前奏	5 4 0	会衆
主の祈り		会衆
ブレイズ	「収穫の時」	会衆
	「主イエスと歩く道」	
聖書朗読	マタイ9:35~38	司会
祈禱	(新約聖書 P17)	司会
賛美	第二讃美歌 191	会衆
メッセージ	「収穫の主」	牧師
祈禱		牧師
賛美	讃美歌 504	会衆
献金		
報告		司会
頌栄	新生 672b	会衆
祝禱		牧師



第二礼拝次第 (英語礼拝)

メッセージ: アドリアン・アルセ師

司会: エセキエル・アルセ兄 奏楽: 郭永東牧師

プレイズ: 「I love you, Lord」

「Grace is thy faithfulness」

「Majesty」 「Amazing Grace」



ファミリー礼拝

お話し: 伊禮信義先生

聖書: 使徒言行録 27:21~26

メッセージ: 「ローマへの旅」

<巻頭言>

東北地方を訪ねて 伊禮信義

「ハレルヤ。わたしの魂よ、主を賛美せよ
命のある限り、わたしは主を賛美し、
長らえる限り わたしの神にほめ歌を
うたおう。」 詩編 146 編 1~2 節

先々週の水曜日までの一週間、生まれて初めて東北地方を訪問する機会が与えられました。妻の神学校生活の様子見と励ましがその主な目的ではありませんでしたがもう一つ大きな目的がありそれは毎年一度11月初旬に開催される「第23回仙台ゴスペルフェステバル」の見学がそれでした。神学校の校長でもある永井信義牧師が実行委員長を務めるこのイベントの奉仕は神学生達にとってとても有意義な伝道実践の場となっていました。

というのも人口100万人以上の都会である杜の都仙台で、市内七カ所に分かれ朝から晩までその土曜日は神を褒めたたえるゴスペルソング(福音賛美)が一日中街角で響き渡っていました。高校生、大学生の若いグループから年配のグループ、外国人も交え老若男女約800名の演者全員が例外なく素晴らしい笑顔で、喜びをもって大きく口を開き、神様を見上げて賛美する姿に胸が熱くなりました。もちろんその精度はプロ並みから素人のサークルレベル迄様々ではありますが、どのチームにも共通して言える事はスキルの問題でなく「今、私は神に生かされている」という感謝と喜びが溢れ出ており観衆にイエス様の素晴らしさを証していた事でした。私も神学生の初心に戻り夫婦で共に一日中、会場で来年の為の募金集めの奉仕に与かる事が出来て感謝でした。

私達も教会内の礼拝で、家庭で、諸集会で神様を褒めたたえる賛美をいつも献げています。決して人前で聞かせる上手な歌ではないかもしれませんが「神様に対して感謝と喜びを献げる」事が本当の賛美ですから、精一杯「命のある限り、神へのほめ歌を歌い」続けていきたいと思いを新たにされた東北での一週間でした。